

編集後記

すべての色を混ぜあわせれば、黒に近い灰色になるという。しかし本当に「すべての」色を混ぜあわせた人物は世にはいないだろう。わたしの見る色は他者の見る色と同じか？ いや「一つ」の色は多様である。同じ地球上のいのちたる動物たちも違う色を見ているはずだ。

色彩とはまた、グラデーションを含めて無限大であり、あの夕焼けが紺の夜空にゆつくりと変わっていくように、境界もなく壁もなく、どこまでもつながりながら刻々と具体的な色彩をあらわにしている。

地上の人間界も本当はそうではないのか。まずは、言語と社会規範と文化習慣と地理空間と歴史体験……というそれぞれ固有のエレメントを抱えて営まれる各地域の社会と文化・生活。そのなかで生活のために発話し、生存をかけて社会的に発言する人間。それが時に音楽という芸術言語によっても代弁される。その音楽こそはまた、その地域じたいのカラーであり、同時に宇宙の一角のカラー。

中国古代の列子は言っている、紺色の風に乗って行き、帰ってくる行為、それが宇宙を知る行為だ、と。これになぞらえるなら、僕たちは想像と実体験で地球と宇宙の各地をつなぐ紺色の深き海を、自らつないで渡ることができる。紺の海は異なる場所に生きる他者を知るほうへと誘っている。

混ぜあわせようとするのは、理想のように見えて、実は一つの暴力ではないか。それは、宇宙の自然に対して良からぬ手を加えるのはもちろん、「均等」と言う裏側で必ず犠牲者を配置もする政治学だ。「色」や「音」を外から定義しかつ違いを無にしてしまう。そうではなく、一つの土地に営まれる色彩と音楽に、それらを一つ一つの星として対することだ。そうして初めて、夕焼けからあの紺色の夜へ向かうように、その土地と他の土地とのつながりと関係も連想し検証することができる。

ここに集った地球の各地についての論稿は、すべてその土地とひとのいのちを紹介・考察くださっている。願わくば、その土地の色と音への探究も「混ぜあわせる」のではなく、その土地とその人びとのいのちに助けられて、それぞれ美しい平らかな共同の場所に出たいかんと。さらには、その探究が持つ色彩が自分たちのままに、すぐ隣の色彩と手をつなぎ合わんことを。

僕たちはまた読者としても在る。ここに集った論稿を手高く蒼く跳びはねて自分の何かを出で、世界のどこかの一つの土地と人と時間による音楽を聴き、色彩を視たい。違うほうへと紺の海を渡りたい。

それは動詞を違う目的語のほうへと交差させることでもある。色彩を聴き、音楽を視る。その土地のいのちの全方角を知ってみようとする。いつか紺色の土地を聴くこと。いつかその土地と人の音階を読むこと。すべての交差。

崔健が漢字を切り裂くようにして、政治に対する発言を試みたようにか。そうだ。

セロニアス・モンクが「Light Blue」にある階段構造を水平に渡っていくようにか。そうだ。

ニール・ヤングが「Wolf Moon」にある紺夜の光のさざめき波を歩いていくようにか。略奪者のニンゲンを狼と月が視るように、視てみることか。そうだ。

(橋本雄一)



投稿規定

1. 『総合文化研究』は東京外国語大学総合文化研究所の研究活動の成果ならびに所員の研究成果の発表のために、同研究所の責任において編集・発行される。なお本誌掲載の論文等に関しては、著者が著作権を有するが、著作権法で規定する複製権及び公衆送信権については、著者は国立大学法人東京外国語大学にその使用を許諾するものとし、本誌掲載論文等は同大学によって電子化・公開される。
2. 『総合文化研究』は原則として各年度ごとに1号を発行する。同研究所は同誌発行のために編集委員会を置く。
3. 投稿は、同研究所の所員ならびに同研究所の研究活動に寄与した者が執筆した未発表の論稿に限る。
4. 編集委員会は必要に応じて外部の者に寄稿を求めることができる。
5. 内容区分は「特集論文」「自由論文」「報告」「書評」とする。
「特集論文」：特集テーマに沿った、執筆者自身による未発表の研究論文。
「自由論文」：執筆者自身による未発表の研究論文。
「報告」：同研究所で開催した講演会・シンポジウムの内容についての報告。
「書評」：書評・新刊紹介等。
6. 使用言語は特に制限しない。ただし、印刷の都合上、言語によっては、写真製版用完全原稿を要求することがある。
7. 写真・図表等は完全原稿とし、希望の大きさと挿入箇所を指定すること。
8. 注は、後注とすること。
9. 参考文献等は、注の後に付すこと。
10. 投稿原稿は、返却しない。
11. 同誌発刊後に、本文等を訂正する必要がある場合は、著者からの申し出に基づき、正誤表で対応することを原則とする。
12. 編集上の細則については、編集委員会が適宜これを定める。

Trans-Cultural Studies No.21 総合文化研究 第21号

2018年2月21日発行

責任編集 橋本雄一

編集スタッフ 石井沙和 木村千恵
永盛鷹司 横田さやか

発行 東京外国語大学 総合文化研究所
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
電話 042-330-5409
Fax 042-330-5410
Web <http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ics/>
e-mail tufs422ics@tufs.ac.jp